

■ 取り付け上の注意

- 取り付け、配線などの作業を行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子からコードを外してください。但し、車によっては、バッテリーを外すと機能の一部（ラジオのプリセット等）が失われますのでご了承ください。
- 事故防止のため、運転の邪魔にならない指定位置に、必ず固定してください。
- 取り付けが終わったら、バッテリーにケーブルを接続する前に、もう一度取り付けや配線を確認してください。
- ヒューズが切れた場合は、各コードがショートしていないことを確認後、切れたヒューズと同じ容量のヒューズに交換してください。交換してもすぐ切れる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ ご使用上の注意

- エンジンを止めた状態で使用しますと、バッテリーが上がりますのでご注意ください。
- 本スピーカーシステムを、大出力のアンプと組み合わせてご使用になる場合、トーンコントロールや、ラウドネスコントロールなどで低音域を上げ過ぎたり、またグラフィックイコライザーの低音域を上げ過ぎたりすると、スピーカーシステムに過大な負荷が加わり、故障の原因となりますので、十分ご注意ください。
- 窓を締めきった自動車を直射日光に当てたまま放置すると、車内は相当な高温になります。このような時はエアコンを動作させるか、窓を開けて車を走らせ、車内の温度を下げてからご使用ください。
- パネルが汚れた時は、シリコンクロスか、軟らかい布で乾拭きをしてください。固い布やシンナー、アルコール等揮発性のもので拭くと、傷が付いたり、文字が消えることがあります。
- 運転中は、車外の音が聞こえる音量に調節してお楽しみください。またカーステレオの操作は、停車中に行うようにして安全運転に心がけてください。

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。周りの配慮を十分にたしましょう。

ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

サテライトスピーカーシステム KSC-S1 付属品

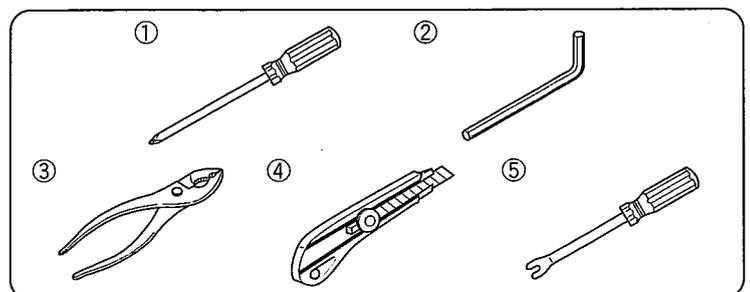
No	部 品 名	数量	外 形
①	取付金具	2	
②	グロメット	2	
③	スピーカー延長コード(5.8m)	2	
④	電源延長コード(5.8m)	1	
⑤	エレクトロタップ	1	
⑥	小ねじ(M4×20)	1	
⑦	小ねじ(M4×16)	2	
⑧	小ねじ(M4×10)	2	
⑨	小ねじ(M6×16)	2	
⑩	タッピングねじ(φ3×25)	2	
⑪	ホルダ	1	
⑫	プッシュナット	2	
⑬	ワッシャー(M6用)	2	
⑭	ワイヤー(長、90cm)	1	
⑮	ワイヤー(中、70cm)	1	
⑯	ワイヤー(短、60cm)	1	
⑰	クッション	2	
⑱	取付説明書、住所録、注意カード、保証書	各1	

- 最初に、上記部品が梱包されているか、ご確認ください。

取り付けまへの準備

● 用意していただく工具

- ① プラスねじ用ドライバー
 - ⊕ No.3ねじ用 (VESSEL社 MODEL 630-3-150など)
 - ⊕ No.2ねじ用
- ② 六角レンチ
2.5mm用
- ③ プライヤー ④ カッター ⑤ クリップ外し



● 電気システムの安全装置

ショート事故防止のため、バッテリーの⊖端子ケーブルをはずします。
(バッテリーケーブルについては、お車の取扱い説明書をご参照ください)。

取り付け手順

取り付け手順はP.5にあります。手順書にしたがって作業を行ってください。

お願い

- 必ず適合する工具をお使いください。適合しない、あるいは変形した工具を使用すると、ねじ・ボルトを傷つけるうえ、十分な締めつけ強度が得られません。

取り付けが終わったら

- 取り付けがすべて終わったら、スピーカーを上下・前後左右に動かしてみ、ガタつきがないかどうか確認してください。
- バッテリーの接続・音の確認
スピーカーコードの配線に間違いがないかもう一度確認してから、先に取り外したバッテリーの⊖端子ケーブルを元に戻します。
キーを入れオーディオセットのスイッチをONにして、音が出ることを確認してください。

定期点検のお願い

取り付けたねじがゆるんで抜けたりすると、スピーカーの落下事故につながります。定期的に点検されるようお願いいたします。下の表をめやすとして、各取り付け部の点検・締めつけを行ってください。

	項目	・1ヶ月毎 ・オフロード走行*1 の前後	一年毎	備考
1	スピーカーのガタつき	○	○	スピーカーを手で動かしてみる
2	スピーカーと取付金具取り付け部		○	《取り付け手順〔7〕》参照
3	取付金具取り付け部		○	《取り付け手順〔4〕〔5〕〔6〕》参照
4	ワイヤの固定部		○	《取り付け手順〔8〕》参照

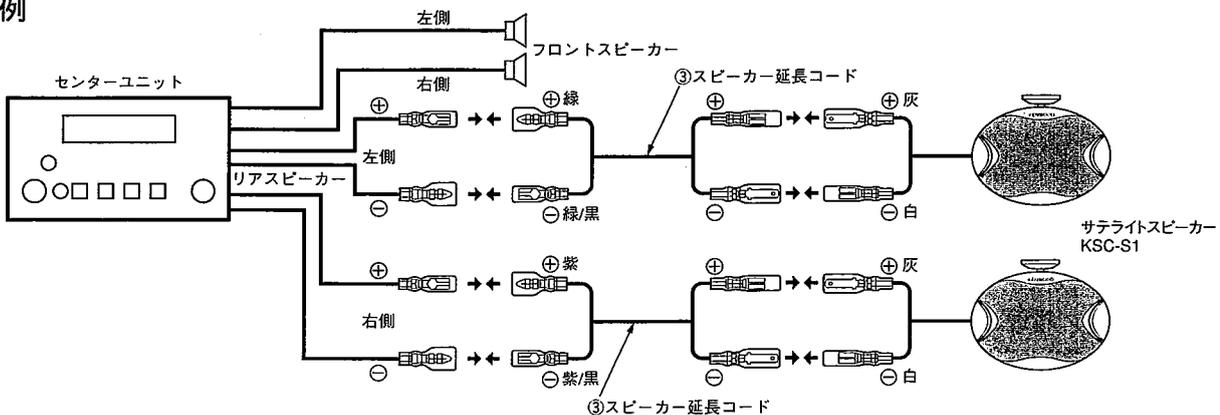
*1 オフロード走行とは、荒れた山道あるいは大きな石や岩がころがっている河原など、一般の道路ではない地帯を走ることをいいます。

お願い

スピーカーのガタつき点検において、異常が認められた場合は、原因を確認のうえ、該当する部分のねじ締めなどをきちんと行ってください。

接続のしかた

■接続例

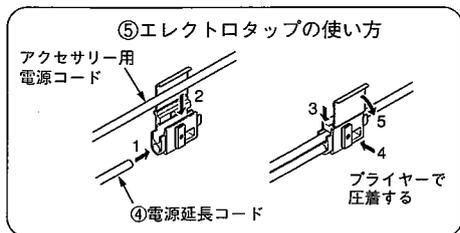
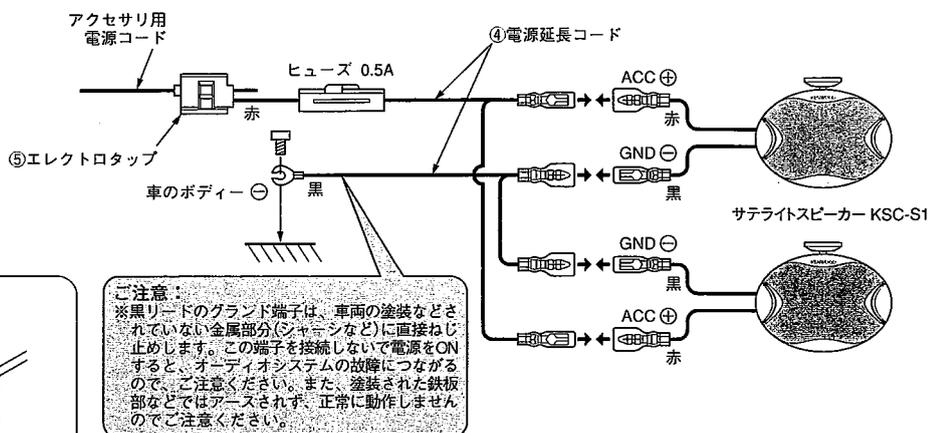


■電源延長コード(イルミネーション)の接続

ご注意： _____

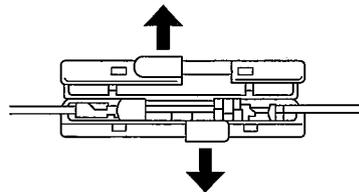
- 車両側アクセサリ用電源コードは、絶対に切断しないでください。
- 車両側アクセサリ用電源コードを確認のうえ、必ず付属の接続コードで接続してください。

1. 赤色コードは、アクセサリ用電源コードに接続します。
2. 黒色コードは、ボディー等のアース(グラウンド)がとれる金属部分に直接ねじ止めします。
3. 取付作業及び配線が終わり、誤りがないかを確認後、バッテリーの⊖ケーブルを接続します。



ご注意:
*黒リードのグラウンド端子は、車両の塗装などされていない金属部分(シャシなど)に直接ねじ止めします。この端子を接続しないで電源をONすると、オーディオシステムの故障につながる。ご注意ください。また、塗装された鉄板部などではアースされず、正常に動作しません。ご注意ください。

●ヒューズホルダーの外し方



■ヒューズ交換について

イルミネーションが点灯しない場合は、アースが車のボディーの金属部に正しく接続されていない場合、又はヒューズが切れていることがあります。切れている場合は配線のショート等がないか確認の上、ヒューズ(0.5A)を交換してください。ヒューズを交換してもすぐ切れる場合、イルミネーションが点灯しない場合、お買い上げ販売店、またはケンウッド営業所、ケンウッドサービス・センターにご連絡ください。

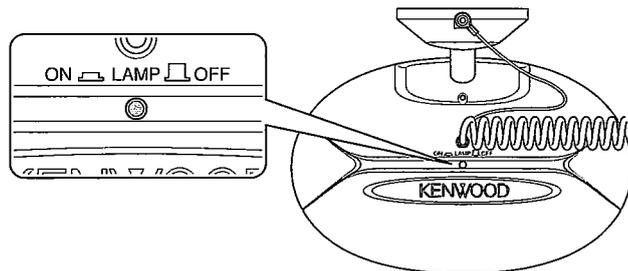
操 作

■イルミネーション

LAMPスイッチによりイルミネーションのON-OFFができます。

ご注意： _____

走行中はイルミネーションを消して使用してください。



定 格

ご注意： _____

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い、予告なく変更になることがあります。

[KSC-S1]

方式	密閉方式
スピーカー/フルレンジ	56mm (Pulp Cone Type)
公称インピーダンス	4Ω
瞬間最大入力	100W
定格入力	25W
出力音圧レベル	88dB/W at 1m
再生周波数帯域	200Hz~25000Hz
本体質量	0.59Kg
イルミネーション/電源	DC14.4V
定格消費電流	0.12A
ヒューズ容量	0.5A
外形寸法	(幅)139×(高さ)109×(奥行)111mm

取り付け手順書

- 取り付け作業をお始めになる前に、本説明書をよくお読みください。
- この手順書のイラストは、リアシートから前方を見た状態を表しています。
- 取り付けは、左側(助手席側)を説明しています。右側(運転席側)も左側と同様に取り付け手順ごとに行ってください。

■車種別取付方法・《車種によって使用する付属品が異なりますのでご注意ください。》

型式は、該当年式内型式の最初から2文字目までを表わしています。例：GF-MC21S → GF

(平成14年8月現在)

メーカー	車種名	年式	取付方法	型式	適合ワイヤー	メーカー	車種名	年式	取付方法	型式	適合ワイヤー	
TOYOTA	bB	H12/2~現在	B	GH	⑤中	HONDA	That's	H14/2~現在	C	LA	⑤中	
	ist	H14/5~現在	B	UA	⑤短		アコードワゴン	H12/6~現在	C	GH/LA	⑤短	
	RAV4 (5ドアのみ)	H12/5~現在	C	TA	⑤長		ステップワゴン	H13/5~現在	C	LA	⑤短	
	Vitz	H11/1~現在	B	TA/UA/GF	⑤短		モビリオ	H13/12~現在	C	LA	⑤短	
	エスティマ	H12/1~現在	C	GH	⑤中		ライフ	H10/10~現在	C	GF/LA	⑤短	
	オーバ	H12/5~現在	C	TA	⑤中		ライフダンク	H12/12~現在	C	LA	⑤短	
	カルディア	H9/9~現在	C	KH/E(注1)	⑤中		SUZUKI	ワゴンR	H10/10~現在	D	GF/TA/LA	⑤中
	タウンエース ノア	H10/12~H13/11	B	GF/KH	⑤長			ワゴンRソリオ	H12/12~現在	D	LA	⑤中
	ツーリングハイエース	H11/8~H14/4	B	GF/KH	⑤長		MAZDA	カペラワゴン	H9/11~H13/2	C	GF	⑤長
	ファンカーゴ	H11/8~H14/8	B	GH	⑤中			デミオ	H8/8~H14/8	C	E/GF/LA	⑤中
ライトエース ノア	H10/12~H13/11	B	GF/KH	⑤長	MITSUBISHI	ファミリアSワゴン	H10/6~現在	C	GF	⑤中		
レジアス	H11/8~H14/4	B	GF/KH	⑤長		ekワゴン	H13/10~現在	C	LA	⑤中		
CUBE	H10/2~現在	B	GF	⑤長		ディオ	H12/1~現在	C	GH	⑤中		
エクストレイル	H12/11~現在	B	GH/TA	⑤中		トッポBJ	H10/10~現在	C	GF	⑤中		
NISSAN	セレナ	H11/6~現在	B	GF/KH/UA	⑤中	ミラージュディンゴ	H10/12~現在	C	GF	⑤長		
	MOVE	H10/10~現在	A	GF	⑤中	SUBARU	フレオ	H10/10~現在	B	GD/GF	⑤短	

(注1) E-AT211G/ST210G/ST215G/ST215W が適合します。

取付方法A：個装箱側面型紙、①取付金具、⑧M4×10小ねじ、⑨M6×16小ねじ、⑫ワイヤー(中)、⑬クッション

取付方法B：①取付金具、⑥M4×20小ねじ、⑦M4×16小ねじ、⑧M4×10小ねじ、⑪ホルダ、⑫プッシュナット、⑬ワッシャー(M6用)⑭⑮または⑯ワイヤー、⑰クッション

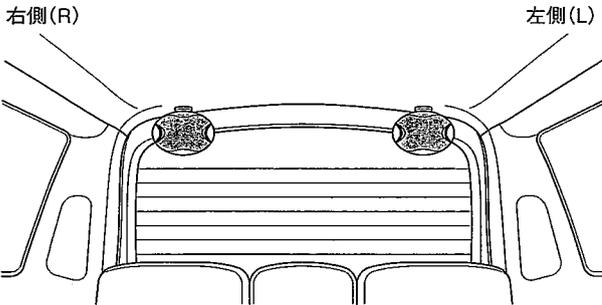
取付方法C：①取付金具、②グロメット、⑧M4×10小ねじ、⑩φ3×25タッピングねじ、⑭⑮または⑯ワイヤー、⑰クッション

取付方法D：①取付金具、⑧M4×10小ねじ、⑨M6×16小ねじ、⑫ワイヤー(中)、⑬クッション

*車種により、適合ワイヤーは異なります。

調査後に車両変更や車種追加が行われる場合もあり、表記記載内容ならびに取付情報に変更になる場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

■取り付け完成図

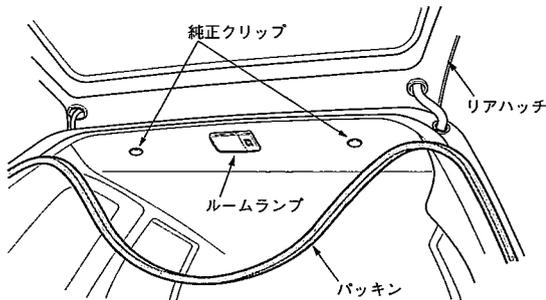


お願い

部品を紛失あるいは破損された場合は、お近くの当社営業所またはサービス・センターにご相談ください。
欠品などそのまま取り付けたら危険です。営業所等の住所・電話番号は、スピーカー本体(KSC-S1)に住所録が付属されていますので、ご参照ください。

■取り付け手順(1)

リアハッチ上部の黒いバックキと純正クリップを外します。
このとき、ルームランプ付きの車両はルームランプも一緒に外します。



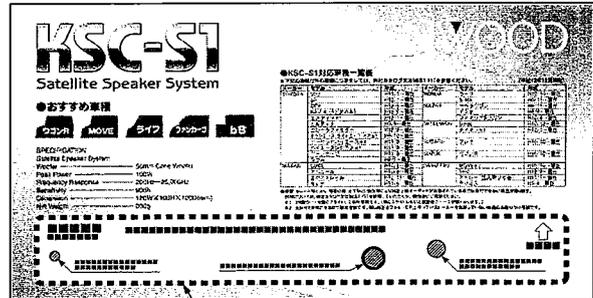
このあと、車種により取り付け手順が変わります。

- 取付方法A(ムーヴ)への取り付け
⇒このページの取り付け手順(2)へ
- 取付方法Bの車種⇒P6左側の取り付け手順(3)へ
- 取付方法Cの車種⇒P6右側の取り付け手順(4)へ
- 取付方法D(ワゴンR)への取り付け
⇒P6左側の取り付け手順(4)へ

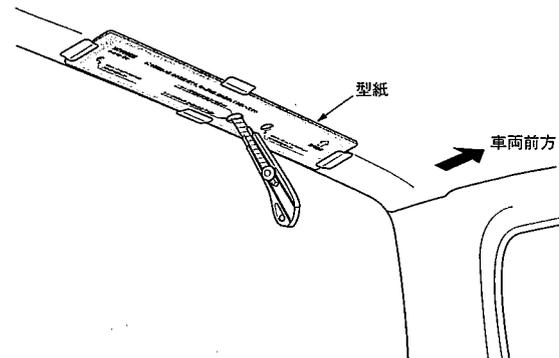
■取り付け手順(2)

●取付方法A：ムーヴへの取り付け

個装箱側面の型紙を使用し、斜線部分を切り取ります。



型紙を純正クリップを外した2ヶ所の穴を基準に合わせ、テープ等で固定して天井材を切り取ります。

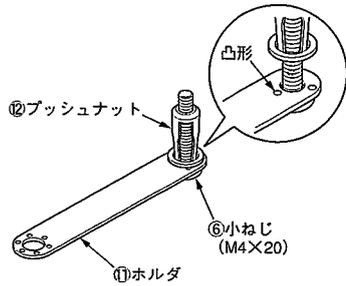


切り取った穴位置を使用して取り付けます。⇒取り付け手順(4)へ

■取り付け手順 [3]

●取付方法B：プッシュナットによる取り付け

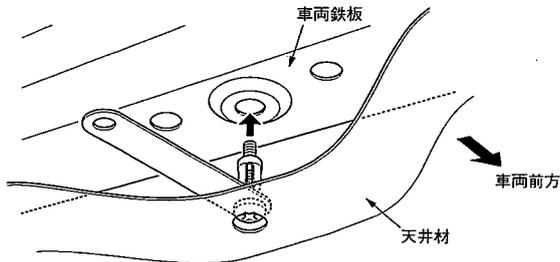
P6のプッシュナット・グロメットの原理を参考にしてください。
 ⑫プッシュナット・⑪ホルダ・⑥小ねじ(M4×20)を図のように組み立てます。



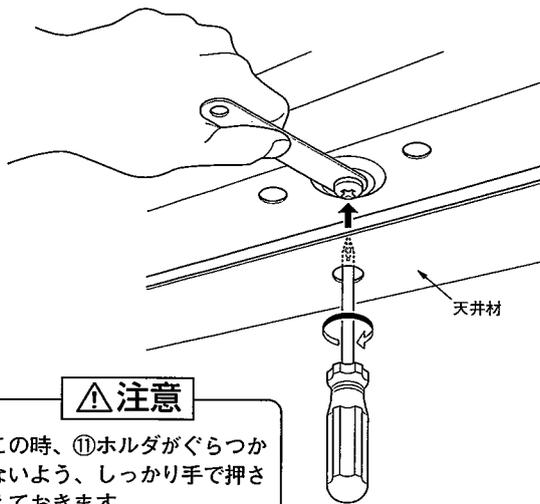
お願い

⑪ホルダの向きが逆になっていたり、⑫プッシュナットの押さえが甘く、ねじがまっすぐ入らない状態でねじ込みますと、⑫プッシュナットが車両側にしっかり固定できない場合がありますので注意して取り付けてください。

組み立てたものを純正クリップが差し込まれていた車両鉄板の穴に差し込みます。



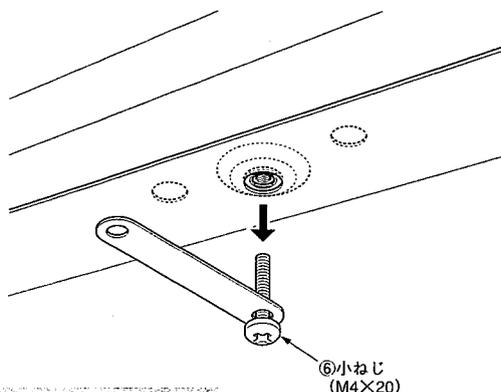
利き手でドライバーを持ち、反対の手で⑪ホルダの柄をしっかりと握ってプッシュナットを押さえ付け、ねじがまっすぐ入っていくようにねじ込みます。
 (ホルダはプッシュナットが回転しないようにねじをねじ込む為のものです。) ねじ込んでいきますと、最初は軽くドライバーを回せますが、プッシュナットが変形し始めるところで固くなります。さらにねじ込んでいきますと⑫プッシュナットが車両の鉄板に根をはった状態で固定されます。



注意

この時、⑪ホルダがぐらつかないよう、しっかり手で押さえおきます。

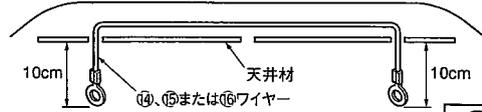
締め込み終わったら、ホルダと小ねじを外します。



⇒ 取り付け手順 [4] ^

■取り付け手順 [4]

⑭、⑮または⑯ワイヤーを天井材の上を通し、スピーカーの取付穴から左右10cm程度均等に出します。



実施

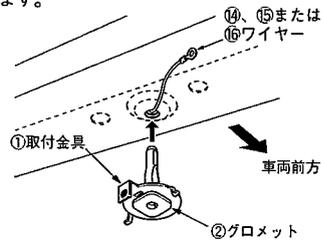
このワイヤーは、ねじのゆるみなどによるスピーカーの落下を一時的に防止する、一種の安全装置です。必ず、取り付けてください。

- 取付方法A(ムーブ)へ取り付け ⇒ P7左側の取り付け手順 [7] へ
- 取付方法Bの車種へ取り付け ⇒ P7左側の取り付け手順 [6] へ
- 取付方法Cの車種へ取り付け ⇒ このページの取り付け手順 [5] へ
- 取付方法D(ワゴンR)へ取り付け ⇒ P7左側の取り付け手順 [7] へ

■取り付け手順 [5]

●取付方法C：グロメットによる取り付け

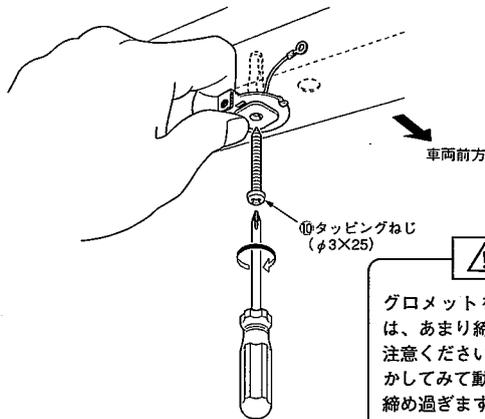
P6のプッシュナット・グロメットの原理を参考にしてください。
 ①取付金具に②グロメットを差し込み、天井材の純正クリップ用の穴に差し込みます。



注意

グロメットと取付金具は、はまり込む向きがありますのでご注意ください。

①取付金具を手で押さえながら⑩タッピングねじ(φ3×25)でねじ締めします。



注意

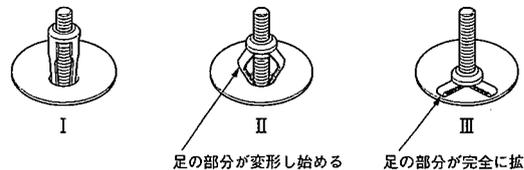
グロメットを固定する為のねじは、あまり締め過ぎないようにご注意ください(取付金具が手で動かしてみても動かない程度)。締め過ぎますとグロメットが破損する恐れがあります。

⇒ 取り付け手順 [8] へ

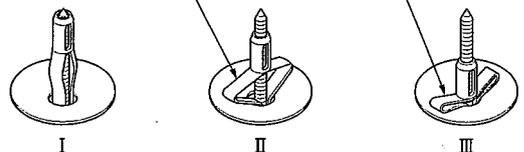
プッシュナット・グロメットの原理

本製品に付属されております、プッシュナット・グロメットは、取付相手先の穴にねじ山が切られていない場合や、反対側に手が入らなくてナット等で止めることが出来ない場合に、表側から簡単にナット形状を作り、固定できるようにしたものです。

●プッシュナットの原理



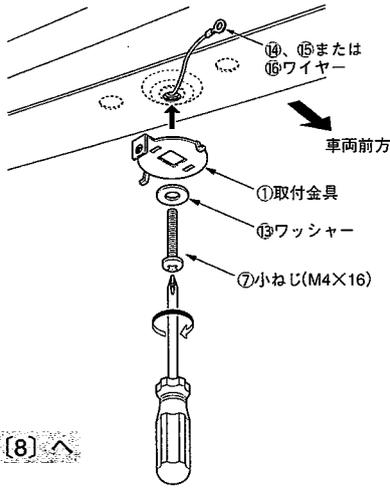
●グロメットの原理



- I：最初の状態
- II：ねじをねじ込むと、足の部分が変形し、拡がり始めた状態
- III：プッシュナット・グロメットの足が完全に拡がり、板を挟み込んだ状態

■取り付け手順〔6〕

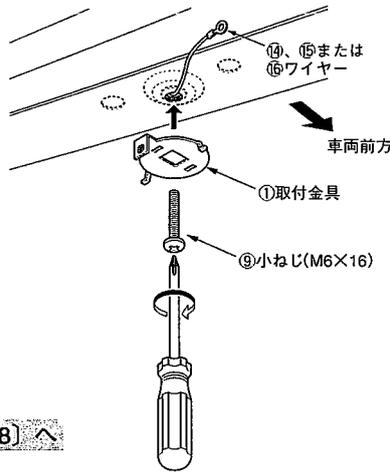
⑦小ねじ(M4×16)と⑬ワッシャーを使用して①取付金具を取り付けます。



⇒ 取り付け手順〔8〕へ

■取り付け手順〔7〕

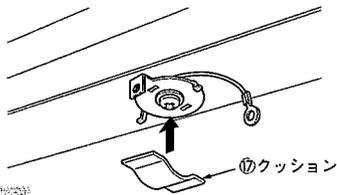
ワゴンR、ムーヴへの取り付けは⑨小ねじ(M6×16)を使用して①取付金具を取り付けます。



⇒ 取り付け手順〔8〕へ

■取り付け手順〔8〕

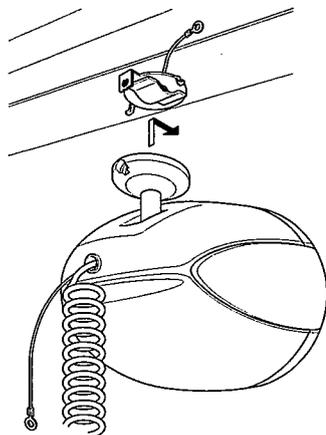
ねじ頭部分をおおるように⑰クッションを貼り付けます。貼り付けはしっかり行ってください。



⇒ 取り付け手順〔9〕へ

■取り付け手順〔9〕

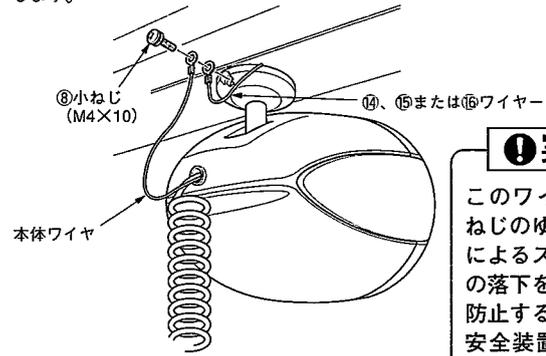
本体を取り付けます。



⇒ 取り付け手順〔10〕へ

■取り付け手順〔10〕

⑧小ねじ(M4×10)を⑭、⑮または⑯ワイヤーと本体ワイヤーの穴に通して固定します。



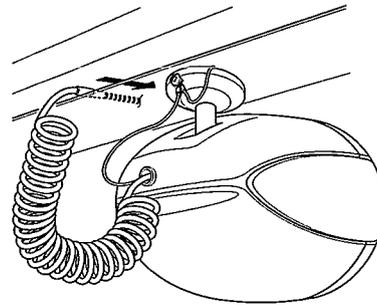
！実施

このワイヤーは、ねじのゆるみなどによるスピーカーの落下を一時的に防止する、一種の安全装置です。必ず、取り付けてください。

⇒ 取り付け手順〔11〕へ

■取り付け手順〔11〕

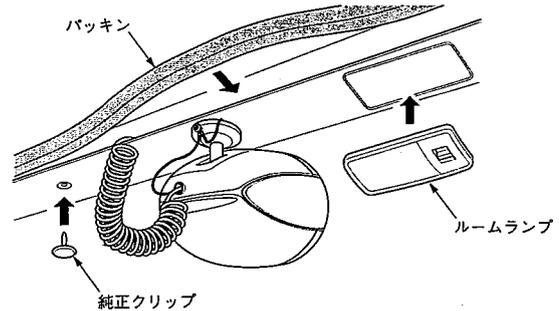
コードを天井材内部に引きまわし、P3, 4の接続のしかたを参考にして接続します。



⇒ 取り付け手順〔12〕へ

■取り付け手順〔12〕

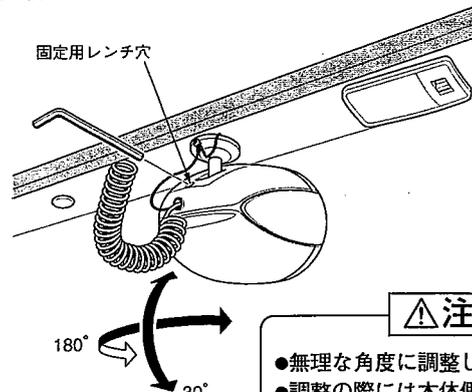
取り外したバッキン、純正クリップ、ルームランプを元通りに取り付けます。



■角度の調整

本製品は取り付け後でも音楽などを楽しむために最適な角度に調整することができます。本体側面を持ち、ゆっくりと向きを変えて左右の音のバランスが丁度よくなる角度に調整します。

その後、六角レンチを使用してスピーカーを本固定します。



△注意

- 無理な角度に調整しないでください。
- 調整の際には本体側面を持って調整してください。
- 調整は必ず車を安全な場所に停車させてから行ってください。

保証書とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別添）

この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、カースピーカーの補修用性能部品は製造打切後、最低6年保有しています。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス・センター、営業所へお問い合わせください。

（お問い合わせは、添付の“ケンウッド全国サービス網一覧表”をご覧ください。）

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、ご使用を中止し、ケンウッドのサービス・センターへお問い合わせください。

保証期間内でも安全上の注意事項を守らない使用で故障及び破損の場合には、原則として有料にさせていただきます。

保証期間中は

保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス・センター、営業所が修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎても修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます。）

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代	修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

便利メモ

お買い上げ店名

☎ () -

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

●商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター（東京）電話(03)3477-5335

〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9

（大阪）電話(06)6394-8085

〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22